

第2回喜茂別町地域公共交通活性化協議会

(開催日時) 平成25年7月8日(月) 14:00～14:40

(開催場所) 喜茂別町役場2階大会議室

1. 開会

【事務局】 ただ今より、第2回喜茂別町地域公共交通活性化協議会を開会いたします。

内村会長よりご挨拶お願いいたします。

2. 会長挨拶

【内村会長】 挨拶

3. 委員の紹介

【事務局】 第1回から、異動等で新たな委員になられた方もおりますので、私からお名前を読み上げますので、ご挨拶お願いいたします。

(社)北海道バス協会札幌地区バス協会 事務局次長 瀧田 修様
本日、都合により欠席しております。

喜茂別町PTA連合会 会長 佐藤秀雄様

同じく、本日、都合により欠席しております。

自治連絡協議会 会長 堀 浩和様

<新委員の挨拶>

それでは、これから以降の進行を規約第6条1項により会長の進行で進めさせていただきます。

4. 報告事項

〔報告第1号〕

【内村会長】 報告第1号について、事務局より説明願います。

【事務局】 報告第1号について説明

【内村会長】 報告第1号について、質問や意見はございませんか。

<質疑応答なし>

5. 議題

〔議案第1号〕

【内村会長】議題に入ります。議案第1号について、事務局より説明願います。

【事務局】 議案第1号について説明

【内村会長】 議案第1号について、質問や意見はございませんか。

<質疑応答なし>

【内村会長】 なければ、議案第1号について、了解したものといたします。

〔議案第2号〕

【内村会長】議題に入ります。議案第2号について、事務局より説明願います。

【事務局】 議案第2号について説明

【内村会長】 議案第2号について、質問や意見はございませんか。

胆振線代替バス協議会でも同じ調査事業事業を実施し、まず、アンケート調査を回覧による全戸配布をして調査、回収をしたのち、集計し結果をうちの協議会で利用計画をまとめていくこととなっている。結果の報告は何時ごろか。

【事務局】 予定では12月中ごろに中間報告をすることとなっています。

【松田委員】 胆振線代替バス協議会は何時頃からできて構成はどうなっているのか。

【事務局】 胆振線が廃止となったあとで、昭和62年か63年に設立され、伊達市、壮瞥町、京極町、倶知安町、喜茂別町のほか道南バス、コンサルのパシフィックコンサルタンツが入っている。

【内村会長】 胆振線代替バスについては胆振線の協議会が実施して、喜茂別町の部分については、喜茂別の中の計画を作る。当然作成にあたっては沿線の自治体の意向を確認していく。

【松田委員】 補助金はそれぞれの自治体に入るのか。

【内村会長】 自治体には入らず、胆振線の代替協議会にはいる。

うちの場合も、補助金はこの協議会に入ることになる。

【堀委員】 喜茂別町公共交通活性化協議会は簡単にいえば、路線バスを今後どうしていくのかという会議なのか。

【内村会長】 路線バスだけではなく、地域の中のタクシー等も含め地域の交通をどうしていくのか。路線バスについては胆振線の協議会と調整をしたり、町の集落の関係についての足はうちの協議会で話をしていく。

【松田委員】 あくまでも、うちの計画を作るということですか。

【内村会長】 調査結果をもらって、これからアンケート調査等をコンサルがし

ますのでそれを基に喜茂別町の地域公共交通の計画を作っていく。

【松田委員】物理的に無理ではないか。路線バスを無くしていくのが決まっているのか。

【内村会長】そういうことは、決まっていない。ただ、町の中には医療バス等があるのですが、喜茂別町として地域の足の確保をどうしていくのかを今後の計画を作っていく。そのためにデータを胆振線の協議会がするので提供してもらおう。

【松田委員】データを胆振線からもらうというのは補助の関係でそうなるのか。

【内村会長】ダブルとなるので喜茂別に関する部分をもらうこととしている。

【松田委員】地域の者からすれば公共交通機関であるのだから、やっぱり一方的にやるとなれば他の役割の部分も考えてやってもらいたい。

【内村会長】胆振線の協議会もありますのでうちの協議会だけでやるということにはならない。胆振線の協議会の中で色々と話しをして、どういう形にしていくか話していかなければならない。うちはうちで地域の課題を決めていく。

【三浦委員】今回、喜茂別町で生活交通の計画を策定して将来のビジョンを検討し今年度で完成したら、来年度以降のスケジュールはどうなっているのか。

【事務局】胆振線の協議会から12月頃に中間報告を受けまして、うちの方である程度並行して素案計画を進めていますので、皆様にお示しした中で今後について、お話をした中で進めていきたいと考えています。

【内村会長】多分、路線をすぐ廃止とはならないので、また、札幌・洞爺湖間のバスもあり、それも含めて実際バスから降りられる方もいますので、それについてもどうしていくのかについても今回計画をしていきますので、26年度の中で実証実験をするのか、そういう形の取組をできればと。計画を作って作りっぱなしとはならないようにする。それでは、事業者である道南バスさんなにかありませんか。

【柴田委員】胆振線代替バス協議会がデータ作成したところを見て、喜茂別町の協議会が良い計画を作れるよう協力する。

【内村会長】もう一つの事業所の岸本さん、なにかありませんか。

【岸本委員】前回、出席して話をしましたが、協議会で決めていくのは難しい。

【内村会長】今後の予定はどのようになっているか。

- 【事務局】 7月18日に入札をした結果の報告をしたいので8月中旬までに次回開催し、そのときに胆振線代替バス協議会の進捗状況について報告したい。
- 【内村会長】 お盆近くの開催となりますが、委員の皆さんの出席をお願いします。事業者の道南バスからはなにかありませんか。
- 【内村会長】 路線バスは胆振線のあとに走っているもの、札幌・洞爺湖間を走っているもの、医療バス、タクシーなどの全体の交通を調査した中で今後どうするかを決めていきたい。他に事務局からありますか。
- 【事務局】 特にありません。
- 【内村会長】 他になれば、議案第2号について、了解したものといたします。その他で事務局よりありませんか。
- 【事務局】 その他について、事務局では特にありません。
- 【内村会長】 なければ、本日の議事はこれで終了いたします。
- 【事務局】 以上でもって、第2回喜茂別町地域公共交通活性化協議会を閉会いたします。ご苦労様です。